

News release

2026 年 9 月 1 日

協和キリン、米国政府との合意を発表 — 米国における治療費負担の軽減を推進 —

本ニュースリリースは、昨日先行して発表した英文プレスリリースの内容を、日本語に翻訳、再構成し、発表しています。
本ニュースリリースの正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先しますことにご留意下さい。
原文（英文）については以下をご参照ください。

https://ir.kyowakirin.com/en/news/news8657937012114191980/main/0/link/e20260901_01.pdf

協和キリン株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：アブドゥル・マリック、以下「協和キリン」）は、本日、米国の患者さんのための医薬品へのアクセス改善とコスト削減に向けた、米国政府との自主的な合意に至ったことをお知らせします。

本合意の一環として、当社は特定の医薬品についてメディケイド制度を利用する患者さんに割引価格で提供する「GENEROUS モデル」に参加するとともに、対象となる新製品を、より均衡の取れた価格体系のもと、他の先進国においても発売します。合意の詳細な条件は非公開とします。さらに、当社は米国商務省との間で、通商拡大法第 232 条（Section 232）に基づく関税措置の適用延期について合意しました。

協和キリン 代表取締役社長 CEO のアブドゥル・マリックは次のように述べています。

「本合意は、患者さんの幅広い治療アクセスの実現に向けた当社の継続的な取り組みを反映するものです。私たちは、世界の医療システムの強靱性と持続可能性の向上を重要な課題と捉えています。その上で、Life-changing な価値をもつ治療法へのアクセス向上を支援するグローバルな取り組みに対して、建設的に貢献していく用意があります。また、米国政府との継続的なパートナーシップに感謝するとともに、本合意は、革新的な医薬品を患者さんへ確実に届けるための現実的かつ重要な一歩であると考えています。これにより、世界中の希少疾患治療の進歩に貢献しながら、米国におけるバイオ医薬品のイノベーションをさらに前進させる道が開かれます。」

協和キリンは、科学的イノベーションと希少疾患への投資において確固たる実績を持ち、バイオ医薬品のイノベーションと発展における米国の役割の重要性を認識しています。米国における当社の意義ある投資と事業拠点には、以下が含まれます：

- ・ ノースカロライナ州サンフォードにおいて、総投資額 5 億 3,000 万米ドルの最先端バイオ医薬品製造施設を建設中です。同施設は、FDA（米国食品医薬品局）の新たな「PreCheck パイロットプログラム」の対象施設として選定されており、バイオ医薬品の開発および製造を担う拠点として、2027 年の稼働開始を予定しています。
- ・ カリフォルニア州ラホヤの研究施設では、免疫学の知見を基盤として、約 30 年にわたり、抗体医薬をはじめとする新たな治療法の創出に向けた標的探索および創薬研究を推進しています。

- ・ ニュージャージー州プリンストンには、協和キリンの北米拠点を設置しています。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

協和キリン株式会社について

協和キリンは、Life-changing な価値をもつ新しい医薬品や治療法を創出し、患者さんへ届けることに真摯に取り組んでいます。日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、70 年以上にわたり医薬品の創出とバイオテクノロジーの革新に貢献してきました。現在、高いアンメットメディカルニーズを解決し得る次世代抗体および遺伝子細胞治療の開発に取り組んでいます。特に骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患の治療法の研究開発に注力し、また他領域で活用され得る研究成果についてはパートナーシップによる価値最大化を目指します。協和キリンは共通の価値観のもと、持続可能な成長を実現し、人々に笑顔をもたらすために尽力します。

<https://www.kyowakirin.co.jp/index.html>